

# 大林組 工事画報 戦前篇 全5巻

〔監修・編著〕橋爪紳也

〔協力〕株式会社 大林組

写真集成 近代日本の建築………第Ⅶ期 (写真集成 近代日本の建築 第40巻～第44巻)

●揃定価：本体150,000円＋税 ISBN978-4-8433-6204-4 C3352

A4判上製／カラー／クロス装／カバー

## 全巻構成

2022年9月刊行予定

- 40● 大林組 工事画報 戦前篇 第1巻 (昭和5年度・昭和6年度) 定価：本体30,000円＋税 ISBN978-4-8433-6205-1
- 41● 大林組 工事画報 戦前篇 第2巻 (昭和7年度・昭和9年版) 定価：本体30,000円＋税 ISBN978-4-8433-6206-8
- 42● 大林組 工事画報 戦前篇 第3巻 (昭和10年版・昭和11年版) 定価：本体30,000円＋税 ISBN978-4-8433-6207-5
- 43● 大林組 工事画報 戦前篇 第4巻 (昭和12年版・昭和13年版) 定価：本体30,000円＋税 ISBN978-4-8433-6208-2
- 44● 大林組 工事画報 戦前篇 第5巻 大林組五十年記念帖(創業五十年記念帖)/解説/全巻総目次 定価：本体30,000円＋税 ISBN978-4-8433-6209-9

## 本書の特色

- 植民地を含む、明治から昭和戦前期にかけての代表的建築物を網羅。現存しない建物も多数収録。
- 建築物を用途別に区分し所在地や、設計者名などを記録。写真資料としても貴重。
- 建物の外観ばかりではなく、屋内や内装も記録。
- 底本文のカラー部分は、全てカラーで再現。最終巻には、監修者による詳細な解説を附す。



甲子園球場 (兵庫県／大正13年)

満洲中央銀行営業室 (満洲新京／昭和13年)

O氏邸応接室 (昭和7年)

大阪電気軌道株式会社上本町停留場 (大阪市／昭和元年)

写真集成 近代日本の建築 好評既刊

全巻電子書籍版あり

- 第Ⅰ期 清水組 工事年鑑 全7巻 〔解説〕松波秀子 〔協力〕清水建設株式会社  
■揃定価：本体154,000円＋税 ISBN978-4-8433-3641-0 C3352
- 第Ⅱ期 伊東忠太建築資料集 全7巻 〔監修・解説〕倉方俊輔  
■揃定価：本体166,000円＋税 ISBN978-4-8433-4066-0 C3352
- 第Ⅲ期 竹中工務店建築写真集 全5巻 〔監修・解題〕石田潤一郎 〔解題・解説〕松隈章 〔解説〕松本始 〔協力〕株式会社竹中工務店  
■揃定価：本体130,000円＋税 ISBN978-4-8433-4772-0 C3352
- 第Ⅳ期 清水組建築写真集 全4巻 〔監修〕松波秀子 〔解題・解説〕松波秀子／砂本文彦 〔協力〕清水建設株式会社  
■揃定価：本体105,000円＋税 ISBN978-4-8433-5306-6 C3352
- 第Ⅴ期 清水組彩色設計図集 全4巻 〔監修・解説〕松波秀子 〔協力〕清水建設株式会社  
■揃定価：本体120,000円＋税 ISBN978-4-8433-5746-0 C3352
- 第Ⅵ期 藤井厚二建築著作集 全10巻＋補巻全2巻 〔監修・解説〕藤井厚二研究会 〔協力〕株式会社竹中工務店／一般社団法人藤井居倶楽部  
■揃定価：本体240,400円＋税 ISBN978-4-8433-6130-6 C3352

ゆまに書房 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-7-6 TEL.03(5296)0491 FAX.03(5296)0493

http://www.yumani.co.jp/

ゆまに書房 Tel.03(5296)0491/Fax.03(5296)0493 年 月 日		※毎度ありがとうございます。お申し込みはぜひ当店へ。	
ご注文書	写真集成 近代日本の建築 第Ⅶ期 大林組 工事画報 戦前篇 全5巻 揃定価：本体150,000円＋税 ISBN978-4-8433-6204-4 C3352		取扱店
	お名前 ご住所		
		TEL ( )	

# 大林組 工事画報

写真集成 近代日本の建築

第Ⅶ期・全5巻

戦前篇

ゆまに書房

〔監修・編著〕橋爪紳也  
〔協力〕株式会社 大林組

建築史家・大阪公立大学特別教授

明治から昭和戦前期における  
代表的建築物を網羅。  
現在では失われてしまった  
建築物も収録した  
極めて貴重な資料群。

電子書籍 同時刊行予定!! 価格等は、KinoDen/Maruzen eBook Library/EBSCO eBooks ほか各サービスにお問い合わせ下さい。

手前図版：大林組本店 (大阪市／大正15年／現・ルポンドシエルビル) 後ろ図版：大阪城天守閣 (大阪市／昭和6年)





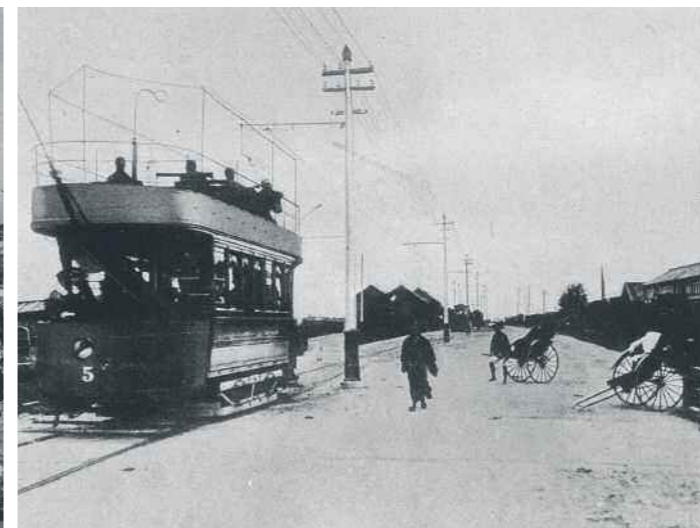
〇氏邸 (神戸市/昭和7年)



松竹座 (大阪市/大正12年)



新世界 (大阪市/明治45年)



大阪築港に通じる道路の施工 (大阪市/明治39年)



第五回内国勲業博覧会正門 (大阪市/明治34年~明治36年)



京都祇園弥栄会館 (京都市/昭和11年)

住友銀行本店営業室 (大阪市/昭和5年)

大阪歌舞伎座 (大阪市/昭和7年)



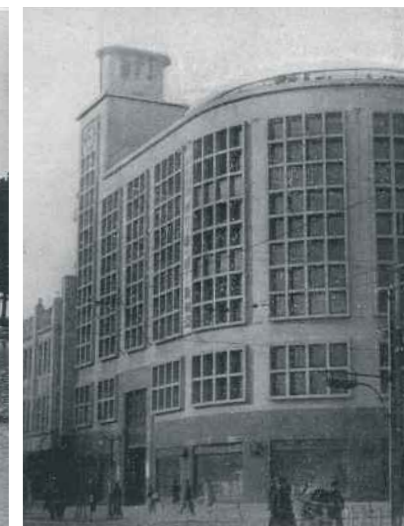
東京帝室博物館 (東京市/昭和12年)



甲子園ホテル (西宮市/昭和5年)



京城丁子屋 (朝鮮京城/昭和13年)



**刊行にあたって**

**橋爪紳也**

本企画は、大林組が編纂・発行した年鑑形式の刊行物や、竣工写真帖、記念帖、図集などを復刻し、明治・大正・昭和戦前期・戦後高度経済成長期までの同社の歩みを総覧するものである。

明治二十五年（一八九二）一月二十五日、大林芳五郎は、大阪で土木建築請負業「大林店」の看板を掲げる。阿部製紙所工場を皮切りに、朝日紡績今宮工場、金巾製織四貫島工場などの建設を請け負った。今日に至る大林組の創業である。

大阪市築港工事や第五回内国勲業博覧会などの大事業を成功させた経験を経て、明治三十七年（一九〇四）に「大林組」と改称、東京にも事務所を開く。ついで社内に設計部門や製材工場を設けて、総合請負業としての業態を整える。以来、同社は、わが国の近代化の歩みと軌をひとつにして、社業を発展させてきた。

明治四十四年には東京中央停車場（東京駅）の建設工事を落札、翌年には伏見桃山御陵造営の特命を受けたことで、全国にその名を広めることになる。いっぽうで創業者である芳五郎は、箕面有馬電気軌道、広島電気軌道、阪堺電気軌道、京津電気軌道、広島瓦斯など電鉄事業や瓦斯会社の設立にも深く関与、都市基盤の整備にも尽力した。

大正七年、二代社長大林義雄のもとで株式会社大林組に改組、昭和戦前期にかけて、明治神宮外苑競技場、阪神甲子園大運動場、大阪城天守閣など、注目される建物をあいついで完成させている。また多摩御陵の造営、昭和天皇即位御大典関連の諸工事など、皇室関連の事業も継続して受注している。

戦後において、その業務はいっそう拡大する。日本万国博覧会（一九七〇年大阪万博）では多くのパビリオンを施工、とりわけ日本では先例のないジャックアップ工法を導入したお祭り広場の大屋根は話題となった。また国内では初の超高層建築である横浜ドリムランドのホテルエンパイア、大阪ドーム、京都駅ビル、東京国際フォーラム、東京スカイツリーなど、都市のランドマークとなる建物を竣工させてきた。また東京湾アクアラインなど、わが国の基幹となる土木事業にも深く関わってきた。

大林組は、工事を請け負った建物や施設を紹介するべく、昭和五年以降、戦時中の中断期間を経て平成十四年まで、『工事画報』と題する冊子を刊行した。また創業五十周年の節目には、創業時にまでさかのぼり、各時代の代表作を網羅して紹介する『記念帖』を発行した。

今回はまず「戦前篇」と題して、昭和十三年までの『工事画報』と『記念帖』を影印復刻版として、順に刊行するものである。将来的には「戦後篇」、さらには同社が施工した主要建物の竣工記念案内、分譲住宅の販売関連資料、家具制作に関する資料類などをもとに、アンソロジーの出版を継続する企画として準備している。

大林組は、二〇二一年に創業百三十年の節目を迎えた。同社がいかにして日本を代表する施工事業者へと成長をみたのか、また従来の土木建設業の枠を超えた新たな企業への発展を模索しているのか。その歩みを識り、将来を見据える基礎資料として、今回の復刻が、広く活用されることを願う次第である。

（建築史家・大阪公立大学特別教授）  
住友銀行本店営業室